



委員会報告

・今回は投稿者なし。

メインテーマ

8月のE例会のメインテーマは「今年度希望する外部卓話」です。

・小林 伯裕会員

カヌーのリオ五輪代表、矢沢一輝選手が西目屋村に移住し、東京五輪を目指しておられます。折角の機会なので、世界を目指すアスリートのお話を伺ってみたいです。

・宇野 純子会員

私もカヌーの話聞きたいです(^_^)

・関場 慶博会員

葛西さん(弘前RC)のねぷたのお話、福眞さん(弘前RC)の津軽の歴史のお話、面白いですよ。

・板澤 雅人会員

昨年だし活のお話がありましたが、料理や地元食文化のお話もいいですね。

・田中 裕介会員

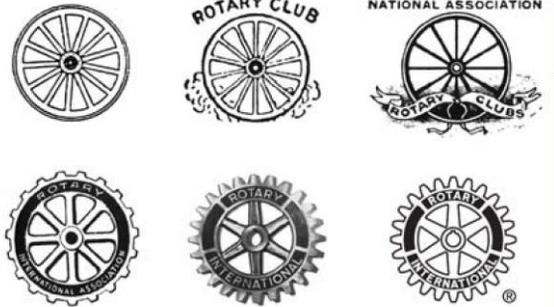
成田俊介さんの財団の話とか😊

今回の出席報告 第204回例会(8/9)の出席報告

◆出席者	◆出席者		
E例会	例会	7名	6名
	MU		7名
			計13名
	修正出席率		41.93%

会員数 : 31名 (出席義務 : 31名 ・ 出席免除 : 0名)

ROTARY豆知識 ロータリーのマーク



「ロータリー」という名は、当時、各メンバーの職場を順番にミーティング場所として使っていた(in rotation)ことに由来します。

初期の頃からずっと、車輪がロータリーのシンボル(象徴)とされてきました。その最初のデザインは、シカゴのロータリアンだったモンターグ・ベアの手によるもので、簡単なワゴン車の車輪と、それに舞い上がる境と運動を表す数条の線とをあしらった図柄でした。この車輪は「文明と運動」を図案化したものだと言われています。

初期の頃のクラブは、大体その刊行物やレターヘッド(便箋)に何らかの形でこのワゴン車の車輪を表示していました。

1922年に、すべてのロータリー・クラブはロータリアン専用の標識として単一共通のデザインを採用すべきだという最終結論に達し、翌年1923年に現在の24の輪歯と6本の編のある歯車が国際ロータリーによって採用されました。

これに対しエンジニアのグループから、この歯車は機械工学的にみて不安定であり、歯車の中心に動力伝達用シャフトへ連結するための「楔穴」がないとうまく回らないだろうという助言がありました。よって、この楔穴が追加され、現在私たちの知るデザインが国際ロータリーの公式標識として正式に採用されるに至りました。